Ⅰ．事業評価総括表　　（単位：円）

番号	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備　　考
1	原子力科学館展示物等のリニューアル工事（第五期工事）	公益社団法人 茨城原子力協議会	48,345,000	48,345,000 うち経済産業省分　24,172,500 うち文部科学省分　24,172,500	

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じて欄を設けること。

Ⅱ．事業評価個表

番号	交付金事業名
1	原子力科学館展示物等のリニューアル工事(第五期工事)

交付金事業者名又は間接交付金事業者名	公益社団法人　茨城原子力協議会		
交付金事業者実施場所	茨城県那珂郡東海村村松		
交付金事業の概要	原子力科学館展示物等のリニューアル工事のうち、未来の私たちについて学べる造作物設置等の第五期工事を行う。		
総事業費	48,345,000	交付金充当額 うち経済産業省分 うち文部科学省分	48,345,000 24,172,500 24,172,500
交付金事業の成果目標	原子力科学館の展示物は前回のリニューアル後約 16 年を経過し、陳腐化や老朽化が進み、補修費用の増加を招いている。一方、茨城県では JCO 臨界事故や福島第一原子力発電所の事故、さらには原子力施設の再稼働や高レベル廃棄物の問題等があり、県民に放射線や原子力に対する正確な情報を届ける重要性は以前にも増して高まっている。 この現状に鑑み、原子力科学館展示物等のリニューアル構想を策定した。本構想に基づき、原子力科学館展示物等のリニューアル工事を実施することにより、来館者に対し放射線や原子力の安全に関する正しい知識の普及啓発を図る。		
交付金事業の成果指標	原子力科学館展示物等のリニューアル工事(第五期工事)を着実に実施する。(リニューアル工事期間中も部分開館を予定しているため、部分開館時においても放射線や原子力の安全に関する知識の普及啓発が図れるような工事計画とする)		
交付金事業の成果及び評価	・原子力科学館展示物等リニューアル工事(第五期工事)のボイスフィールド(-未来の私たち-)は、2015 年ノーベル物理学賞を受賞した梶田隆章先生を初めとし、原子力関係者や大学生のインタビュー映像を視聴し、放射線利用と原子力や未来のエネルギーについて、自分ごととして考え、投票形式で意志表明を促します。 ・来館者数は新型コロナ感染拡大の影響を受け、平成30年度の21,264人から激減したが、令和6年度は26,946人と東日本大震災後、最高となっている。令和 2 年度から令和 5 年度までに設置したリニューアル展示物に加えて、今回製作したボイスフィールドの設置等により更なる来館者増加のための有力な要素となるものと期待している。		

交付金事業の契約の概要

契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
原子力科学館展示物等のリニューアル工事(第五期工事)	指名競争入札による契約先選定	㈱乃村工藝社 東京都港区台場	48,345,000

成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無

無し